



平成 16 年 7 月 15 日

青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡対策室

〒030-8540 青森市新町 2 丁目 3-1

TEL (017) 734-9924

FAX (017) 734-8280

三内丸山遺跡対策室 分室

〒038-0031 青森市三内丸山 293

TEL (017) 781-6078

FAX (017) 781-6103

三内丸山通信



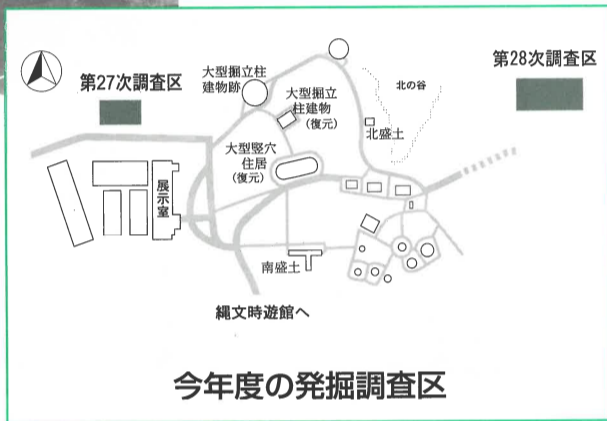
第27次調査の発掘風景

がわかりました。平成12年度の第19次調査では柱穴に残っていた木柱を取り上げ、年代を測定しました。今回の調査は、この木柱と同じ建物の柱を探し、柱の配置を検討

第27次調査区の周辺ではこれまで5回の調査が行われていきます。その結果、柱穴がたくさん見つかり、掘立柱建物が建っていたこと

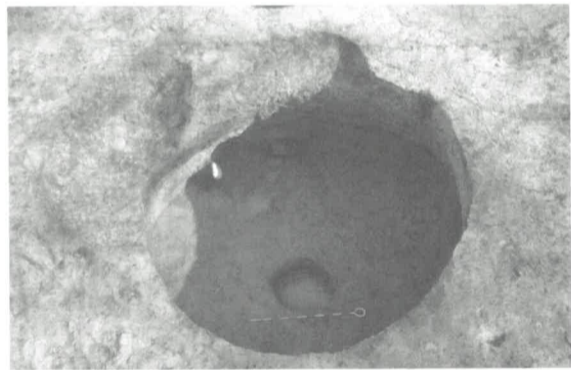
第27次調査区

今年度の発掘調査が5月25日から始まりました。遺跡北側斜面に位置する第27次調査区、遺跡東側に位置する第28次調査区の2地点を調査します。調査は9月30日までの予定です。



今年度の発掘調査区

三内丸山遺跡 発掘調査 始まる



第7鉄塔地区の調査で見つかった貯蔵穴

第28次調査区の周辺では、平成4年度の第7鉄塔地区の調査で貯蔵穴がまとまって見つかりました。平成7年度の第2次調査では貯蔵

第28次調査区

することが主な目的です。木柱が残っている場合には取り上げ、さらに詳しく調べる予定です。

発掘調査の見学

第27次調査区は自由に見学することができ、毎週火

穴の分布が東に延びることがわかりました。今回は貯蔵穴の分布や時期、用途を特定するための調査を行います。

曜日・木曜日にはミニ現地説明会を行います。職員が調査区を案内し、最新情報をお知らせします。午前11時・午後2時、展示室前にお集まりください。なお、ミニ現地説明会は天候によっては中止になる場合があります。8月12・17日は行いません。

特別研究推進事業

テーマ決定

特別研究推進事業は、三内丸山遺跡や縄文文化について研究課題を公募し、研究を進める事業です。今年度のテーマは次のとおり決定しました。

・羽生淳子 (University of California at Berkeley) 「世界の狩猟採集民研究からみた三内丸山遺跡 — 文化景観の長期的変化とそのメカニズム —」

・合地信生 (斜里町立知床博物館) 「三内丸山遺跡出土石斧の産地と流通について」

これらの研究成果は3月に開催する「三内丸山遺跡報告会」で発表されますので、ご期待下さい。

・吉川純子 (古代の森研究所) 「縄文時代東北地方北部のウルシ利用の調査」

昨年度までの特別研究推進事業の研究成果については、三内丸山遺跡の公式ホームページや、毎年刊行している「特別史跡 三内丸山遺跡 年報」に掲載しています。年報は三内丸山遺跡展示室の図書コーナーの他に、青森県立図書館や県内各市立図書館で見ることができます。

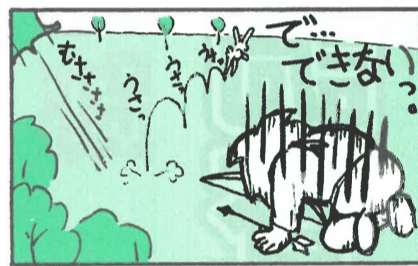
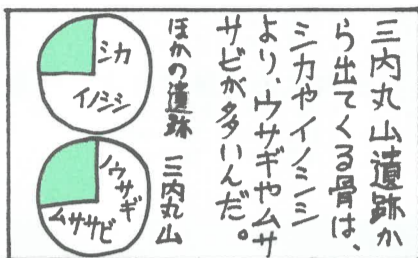
・赤沼英男 (岩手県立博物館) 「出土資料の組成からみた三内丸山遺跡縄文時代中期における塗装技術の流入と展開」

・河村日佐男 (日本海洋科学振興財団むつ海洋研究所) 「木柱のC-14測定による年代の推定」

サンタイムズのなかまたち



どんなエモノを狩ってたの?
丸山三太郎



5月29日に実施した「土器作り2」では、遺跡から発掘された土器を見ながら、形を作りました。今回製作した土器は7月24日に野焼きをして完成する予定です。また、6月26日に実施した「三内丸山遺跡探検」で



土器作り2



三内丸山遺跡探検

現在、受付中のメニューには、「石器作り」と「貝を

参加者受付中

受付中の「三内丸山縄文教室」のメニュー

月日	時間	メニュー	内容	申し込み期間	定員
10/16 (土)	午前10時から午後3時まで	石器作り	黒曜石などで石器を作ります。	10月8日(金)まで	25人
12/11 (土)	午前10時から午後3時まで	貝を使ったアクセサリ作り	ベンケイ貝などでアクセサリーを作ります。	12月3日(金)まで	50人

申し込み・お問い合わせ先
三内丸山遺跡展示室 TEL 017(781)6078
※要予約。定員になり次第、締め切ります。

縄文時遊館「体験工房」メニュー

メニュー	受付時間		所要時間 (※1)	料金(※2) (税込み)	備考
	午前	午後			
縄文ポシェット作り	9:30~10:00	13:00~13:30	2時間	320円	中学生以上
編布(アンギン)作り	9:30~10:00	13:00~13:30	2時間	530円	中学生以上
板状土偶作り	9:30~10:00	13:00~13:30	2時間	530円	
アクセサリ作り	9:30~11:00	13:00~14:30	1時間	1,050円	
まが玉作り	9:30~11:00	13:00~14:30	1時間	320円	
ミニ土偶作り	9:30~11:00	13:00~14:30	1時間	320円	
組みひも作りと火起こし(※3)	9:30~11:00	13:00~14:30	1時間	210円	

※1 完成までの目安時間です。
※2 平成17年3月までの料金です。
※3 火起こしは、団体のみ冬期間および雨天は中止となります。
お問い合わせ先 縄文時遊館 TEL 017(766)8282

遺跡のご案内

遺跡の開園時間

9時~19時(4月~10月)
ただし、「遺跡内展示室」、「展示遺構」の公開時間は、9時~18時

ボランティアガイド定時説明

1回目は9時15分から
その後は10時から1時間ごと
(7月24日~8月15日は30分ごと)

交通手段

青森市営バス
JR青森駅から「免許センター」行き「三内丸山遺跡前」下車
※時刻表は「三内丸山遺跡公式ホームページ」に掲載されています。

体験しました!

5月15日に「土器作り1」を実施しました。粘土に砂を混ぜてよくこね、生地を作りました。さらに、模様を付ける縄作りにも挑戦しました。

三内丸山遺跡では、遺跡と関係が深い遺物や、縄文時代をテーマに「三内丸山縄文教室」を実施しています。

三内丸山縄文教室

開催中!



縄文の技を学ぼう!

使ったアクセサリ作り」があります。「石器作り」では黒曜石で矢じりを作り、弓矢の体験をすることによって、石器がどのように利用されていたかを学びます。「貝を使ったアクセサリ作り」では、ベンケイ貝を使って、腕輪などのアクセサリを作り、縄文人と同じおしゃれを楽しみます。

時遊館の体験工房

縄文時遊館では、三内丸山応援隊主催の「体験工房」を毎日開催しています。「まが玉作り」や「板状土偶作り」など、1~2時間程度でできるメニューがあります。

展示室!!

「土偶って何?」

三内丸山遺跡では全国的にも類のない1,600点以上の土偶が出土しました。形は十字型の扁平な板状で、顔・胸・へそがつきます。破片で出土するケースが多く、ここで祭りなどの儀式が継続的に行われていたと考えられます。土偶を接合すると、大きさは4cm程度から30cmを超えるものまであります。

土偶のほとんどは南・北の両盛土遺構から出土しており、縄文時代中期前半から中頃(5,000~4,500年前)のものが多いです。代表的な土偶である「大型板状土偶」は、頭部は北盛土から、胴部は縦穴住居跡から出土しています。

